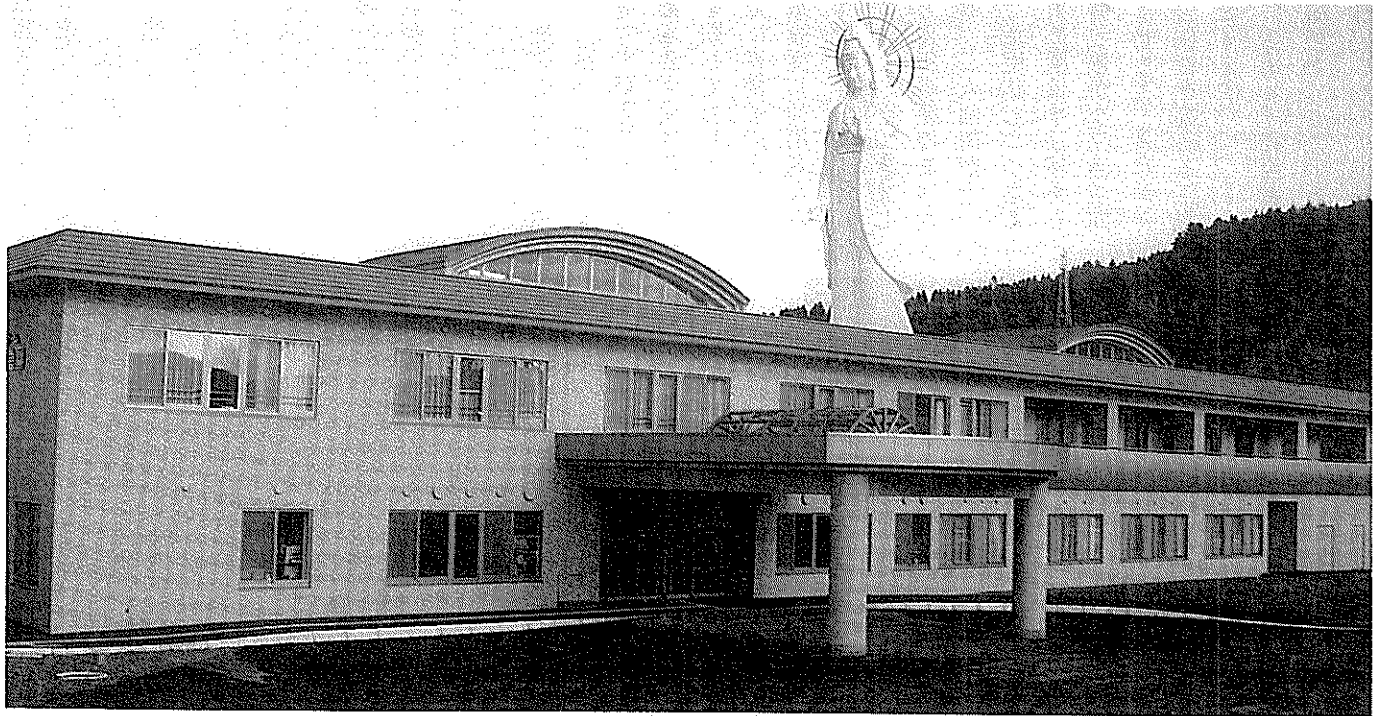


第11号

慈恵園だより

発行所
 芦別市旭町28番地
 特別養護老人ホーム
 芦別 慈恵園
 発行責任者
 田村 美之
 印刷所
 (有)ワタナベ企画いんさつ



新施設落成

理事長 竹重 正

昨年夏の着工以来、工事をすすめて参りました芦別慈恵園がこの度目出度く落成の運びとなりました。

移転新築にあたりましては芦別市長様はじめ市議会、福祉事務所、社会福祉協議会の皆様方に数々の御指導、御助言を賜り、心より厚く感謝申しあげます。

外観の素晴らしさは言う迄もなく、一步中へ入ったの眼を見張るような空間、広い廊下、個室化された居室、働き易い構造設備、最新のインテリアの選定等、その他利便性と立派さに感心させられました。

工事関係者の皆様方にも心より感謝申し上げます。

さて、新館の落成で利用者には今迄以上の喜びと安らぎを感じて頂き、御家族にも安心と信頼を得るに十分な施設と自負している所です。中で働く職員は、笑顔をもっていつもやさしく親切に対応する事をモットーとして昼夜頑張っております。

益々進む少子高齢化のため今後施設の需要は増大する事必定と思われれます。御陰様をもちまして当園でも既に満室で空き待ちの待機者が相当数いらっしゃいます。

これからも当園では職員一同、芦別市における福祉政策の一翼を担って地域住民の幸せの為に、より一層の努力をする所存です。

今後共、皆様方の御指導、御支援をねがって、新施設落成の御挨拶と致します。

新施設の概要ご紹介

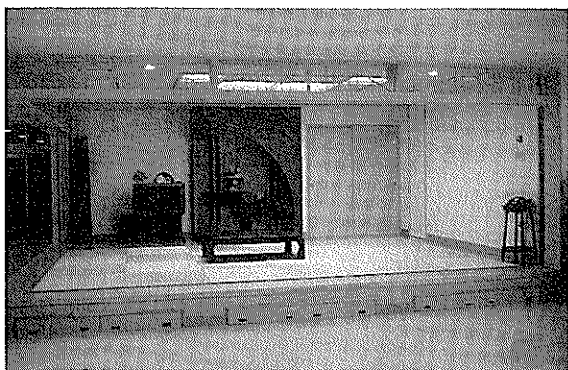
施設長 田村 美え

新しい施設は、自然の美しい旭の丘陵に、星のふる里大橋を右に見、北海道大観音を背にして、国道四五二線に沿いながら南向きに建っています。外壁の色調は四季折々の風景に調和し、特に寒々とした冬には、ほのほのとした温かさが感じられるような色にいたしました。

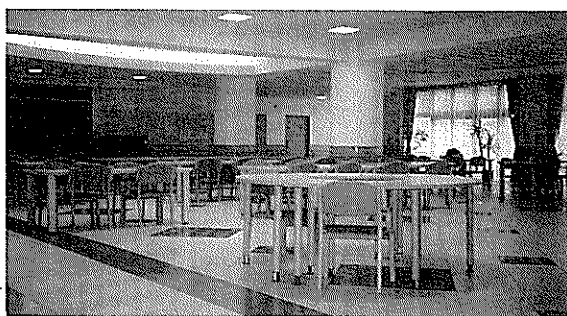
玄関に入って最初の印象は、シンプルでやわらかな木製調の食堂と、これに隣接するライトコートの明るく陽ざしです。

ここを起点として施設のあらゆる機能・設備等が一階・二階へと展開します。まず給食調理室ですがその入室は、エアシャワー・消毒を必ず受ける等食中毒の防止に万全を期しております。入浴については新たに車椅子で入浴できる中間浴槽を二基設置し利用者からよるこばれています。トイレも二室に一ヶ所づつ設け大変ゆとりができましたが、何といたっても長年の夢であった広い個室が三十二室、二人部屋が十一室できたことです。重度化しつつある利用者のための四人部屋は十三室ありますが、整った設備と豊かな生活空間を楽しむことができます。またダイニング・談話室等居住性を高める工夫もいろいろ試みております。

この機能をフルに活用し、利用者の皆さんの生活を一層豊かにしたいと決意している次第です。



談話コーナー

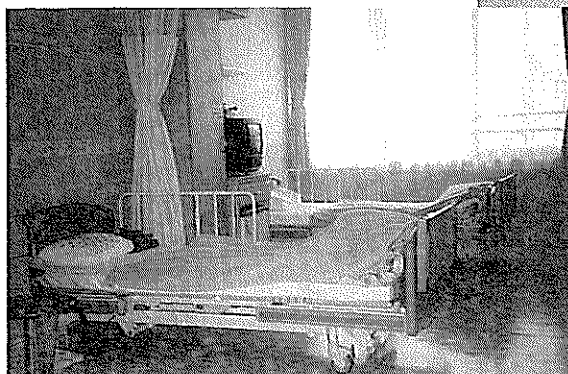


1階 食堂

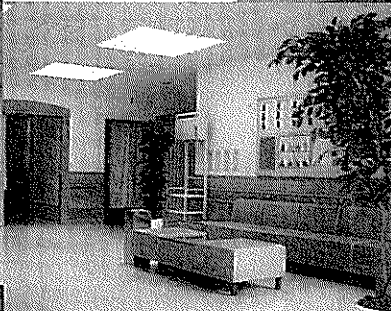


ダイニング

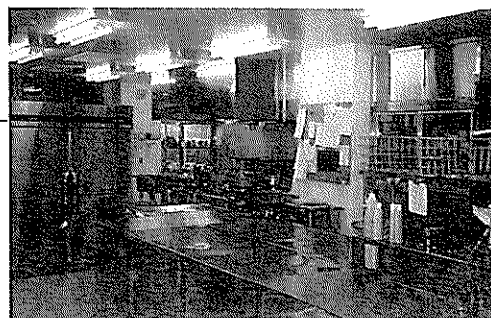
2階 食堂



二人部屋



給食調理室



新施設の写真